



「宇美町読書の日」 子どもの本だな 春号 贈版



うみちょうりつとじょかん
宇美町立図書館



【1ねん1くみの1にち】

川島 敏生：写真・文 アリス館
Eイ



登校、朝の会、国語や算数などの
授業、休み時間、給食、そうじ、
帰りの会…。小学1年生のクラス
の1日を写真で紹介。
1か月の給食や夜の学校の様子
も紹介されています。

もり がっこう 【森の学校のなかまたち】

きたむら えり：さく 福音館書店
J913キ



ふかい雪にとざされた、しずかな森にあ
るどうぶつの子どもの学校。今日も学校
の前の原っぱでは、クマやシカ、うさぎ
の子どもたちが雪にまみれて走りまわ
っています。そしてこの森にも、もうす
ぐ待ち遠しい春がやってきます…。

しよ せい
書 名

ちよ しゃ せい
著 者 名

しゅつばんしゃ
出版社

ぶん ぶん
分 類

【えほん】

- ・「はじめてのおつかい」 筒井 頼子：さく 林 明子：え 福音館書店 Eハ
- ・「ともだちや」 内田 隣太郎：作 降矢 なな：絵 偕成社 Eト
- ・「くんちゃんのはじめてのがっこう」 ドロシー・マリノ：さく ペンギン社 Eク
- ・「春の主演 桜」 ゆのき ようこ：文 理論社 T Eハ
- ・「さくらいろのランドセル」 さえぐさ ひろこ：作 教育画劇 Eサ

【よみもの】

- ・「さくらんぼクラブにクロがきた」 古田 足日：作 岩崎書店 J913フ
- ・「みどりいろのたね」 たかどの ほうこ：作 福音館書店 J913タ
- ・「あたま山」 齊藤 洋：文 あかね書房 J913サ
- ・「晴れた日は図書館へいこう」 緑川 聖司：作 小峰書店 J913ミ
- ・「三月 ひなのつき」 石井 桃子：さく 福音館書店 J913イ
- ・「ウォンバットと春のまほう」 ルース・パーク：作 朔北社 J933パ

【その他の本】

- ・「方言の絵事典」 真田 信治：監修 PHP研究所 J818ホ
- ・「ツバメのくらし」 菅原 光二：著 あかね書房 J488ス
- ・「よもぎだんご」 さとう わきこ：さく 福音館書店 J596サ
- ・「かんたんアウトドア・クッキング」 ほるぷ出版 J596カ
- ・「モモの絵本」 やまぐち まさみ：へん みなみ くうくう：え 農山漁村文化協会 J625モ
- ・「たけのこほり」(かがくのとも 2004年5月号) 浜田 桂子：さく 福音館書店 雑誌
- ・「さくら」(かがくのとも 2005年4月号) 長谷川 摂子：文 福音館書店 雑誌
- ・「里山百年図鑑」 さとやまひゃくねんずかん 松岡 達英：作 小学館 J407マ

まいつき にち うみまちどくしょ ひ
毎月23日は「宇美町読書の日」

H24.3





「宇美町読書の日」 子どもの本だな はるごう



うみちょうつとしまかん
宇美町立図書館



【999ひきのきょうだいのはるですよ】

木村 研／文

ひさかたチャイルド Eキ



はるがやって来ました。お母さんか
えるが999匹のこどもたちを起こ
します。ところが、何回数えても9
98匹。大きいかえるのお兄ちゃん
は、やっぱりねぼすけで…。

【くいしんぼうのはなこさん】

いしい ももこ／ぶん 福音館書店 Eク



わがままな子牛のはなこは、春の山の牧場
で、ほかの子牛たちとちゃんばらをして1等
になり、ますますわがままになってしまいました。
ある日、お芋とカボチャを独り占めにして食
べて、体にガスがたまりアドバルーンのように
膨らんでしまいました。

【そらはさくらいろ】

村上 康成／作・絵

ひかりのくに Eソ



春、桜が散る中で、地面に寝っ転
がるのは気持ちいい。でも空さんは
いつも見てるだけ。空さんは寝っ転
がって桜を見ることが出来る！
春を一定先に体感…。

【こぶたのブルトン はるはおはなみ】

中川 ひろたか／作 アリス館 Eコ



こぶたのブルトンと、いたちのアンドレ
と、だるまのタカサキさんは、たかさきや
まへ花見にでかけました。お店がいっぱい
出ている道を歩いて、たかさきやまのてっ
ぺんにつくと、人がいっぱい、もう座る
ところがありません…。

【木の実のけんか】

岩城 範枝／文

福音館書店 Eコ



おおきな桜の木の下で花見をはじ
めたタチバナたち。そのようすをみ
ていたクリの実、花見のじゃまを
しようとして…。

【またあえるよね】

あいはら ひろゆき／作

教育画劇 Eマ



かなとなつきちゃんは犬の仲良
し。でも、なつきちゃんのおうちが
急に引っ越しすることになり、お別
れだそうです。愛しい子どもたち
の心と情景を描く絵本。

【ぼくはぼくのほんがすき】

アニタ・ジェラーム／さく 評論社 Eボ



ぼくはぼくのほんが好き。みためも好き
だし、てざわりも大好き。ぼくをいろん
な場所につれてってくれる。本の中には
魔法の森があって、すてきな花が咲いて
いて、大好きな友だちもたくさんいるん
だ！ うさぎが案内する本の世界。

【あたま山】

舟崎 克彦／文 そうえん社 Eア



よちちょうのじんべえさん、上野の山
へお花見です。ところが肝心のさくらは
すっかり散って、枝にはさくらんぼうが
ぶら下がっているばかり。そこでじんべ
えさん、さくらんぼうをむやみやたらに
ほおばった。すると、さあ大変…。



まいつき にち うみまちどくしょ ひ
毎月23日は「宇美町読書の日」

H24.3

